

—医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。—

酸化マグネシウム製剤 適正使用に関するお願い —高マグネシウム血症—

2015年10月
丸石製薬株式会社

酸化マグネシウム製剤服用中の患者さんで「高マグネシウム血症」を発症し、重篤な転帰をたどる症例が報告されております。

本剤を**長期間**投与している患者さん、**腎障害**を有する患者さんや**高齢**の患者さんでは**高マグネシウム血症を起こしやすくな**っております。特に便秘症の患者さんでは、**腎機能が正常な場合や通常用量以下の投与**であっても、発症する可能性があります。

つきましては、本剤の投与に際しましては、「高マグネシウム血症」の**発症・重篤化防止並びに早期発見**のため、以下の事項にご留意いただけますようお願い申し上げます。

- 処方の際には、**必要最小限の使用**にとどめてください。
- **定期的に血清マグネシウム値を測定**するなど高マグネシウム血症の発症にご注意ください。
(長期投与あるいは高齢者に投与される場合は特にご注意ください。)
- 高マグネシウム血症の**症状があらわれた場合には、服用を中止し、直ちに医療機関を受診**するよう患者さんにご指導ください。*

高マグネシウム血症時の症状

血中 Mg 濃度	症状
4.9mg/dL～	悪心・嘔吐、起立性低血圧、徐脈、皮膚潮紅、筋力低下、傾眠、全身倦怠感、無気力、腱反射の減弱など
6.1～12.2mg/dL	ECG異常（PR、QT延長）など
9.7mg/dL～	腱反射消失、随意筋麻痺、嚥下障害、房室ブロック、低血圧など
18.2mg/dL～	昏睡、呼吸筋麻痺、血圧低下、心停止など

改変引用：中村孝司，日本医事新報（3540）：177-178（1992）

木村琢磨，JIM 18（11）：942-943（2008）

※ご指導いただく際、リーフレット「酸化マグネシウム製剤を服用中の患者さん・ご家族の方へ」をご活用下さい。リーフレットは、弊社のホームページ(<http://www.maruishi-pharm.co.jp/>)からダウンロードできます。

酸化マグネシウム製剤を服用中の患者さん・ご家族の方へ

● 酸化マグネシウム製剤の服用中に気をつけること

このおくすりは、まれに、「高マグネシウム血症」という副作用が起ることがあります。

次のような症状がみられましたら、「高マグネシウム血症」の可能性があるので、**このおくすりの服用をやめて、すぐに、この紙**又は**このおくすり**をもって、**医療機関を受診**してください。

高マグネシウム血症の初期症状

吐き気、嘔吐、立ちくらみ、めまい、脈が遅くなる、
皮膚が赤くなる、力が入りにくくなる、体がだるい、
傾眠（眠気でぼんやりする、うとうとする）

このおくすりを**長く服用**し続けている患者さん、**腎臓に病気**のある患者さん、**高齢**の患者さんにおいて、「高マグネシウム血症」が多く報告されています。特に便秘症の患者さんでは、腎機能が正常な場合や通常服用する量でも重篤な例が報告されていますので、注意してください。

「高マグネシウム血症」は、**放っておくと重い症状**（息苦しい、意識がもうろうとする、心停止）になることがありますので、**早めに医療機関を受診することが大切**です。早めに発見し適切な処置をおこなえば大事に至ることはほとんどありません。

あなたが服用されている酸化マグネシウム製剤は、下記のおくすりです。

<input type="checkbox"/> 酸化マグネシウム原末・錠・細粒	<input type="checkbox"/> 重力マ
<input type="checkbox"/> 重質酸化マグネシウム	<input type="checkbox"/> マグミット細粒・錠
<input type="checkbox"/> （ ）	

丸石製薬株式会社

2015年10月作成
2016年10月改訂